

6/15
早稲

国会正門前を 5千人埋める

「テロ対策とうそをつくな」。十四日夜の国会正門前の抗議集会。主催者発表で約五千人が歩道を埋め尽くした。至る所に「私は共謀罪に反対します」と書かれたプラカードが掲げられ、市民らは「採決の強行は許さない」と声を張り上げた。

与党が突然、参院本会議で法務委員会採決を省略する中間報告の動議を提出する構えを見せ、抗議する市民は議員会館前にも集結。埼玉県草加市から駆け付けた無職石岡洋子さん(66)は「国民の生活から自由がなくなってしまう」と懸念する。「なんとしても成立を阻止しないとイケない」。原発や特定秘密保護法に反

対するデモに参加した経験を持つ茨城県石岡市のデザイナー増山みゆきさん(58)も「平和的なデモもテロとみなされ、実施できなくなるのではないか」と批判した。「国民をばかにしている」。横浜市の主婦(65)は「採決強行は加計学園や森友学園問題の追及をうやむやにするためではないのか」と憤る。